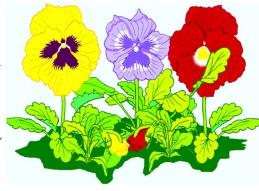


月日の経つのは早いもので12月、師走となりました。本年も、残り一ヶ月足らずとなりました。これまでを振り返ると全てが山田小最後の行事となりましたが、例年以上に子ども達が頑張り、予定通りに進めることができています。とをうれしく思います。

また、29日の、授業参観、PTA例会等、お世話になりました。8日の持久走大会も、寒さが心配ですが、よろしくお願います。



これから冬本番となりますが、インフルエンザの流行が見られる時期となります。寒さに負けず、体調にも気をつけ、2学期のまじめに子ども達には頑張ってもらいたいと思います。

阿蘇中校区

差別をなくす子ども集会

阿蘇中学校体育館で、11月27日に、小学校4校の6年生と阿蘇中学生で阿蘇中校区差別をなくす子ども集会と人権教育講演会が行われました。この会の目的は、次の3点です。

○子ども達の人権意識を高め、部落差別をはじめ、身の回りの様々な差別をなくす態度や実践力を育てる。

○お互いの学習を交流することにより、反差別のなかまづくりを進めるとともに、各学校・各学級の今後の課題解決に向けての取組に生かす。

○中学校生活につながるための6年生の交流を図る。

このことを受け、本年度は、阿蘇小学校、阿蘇西小学校、そして阿蘇中学校人権委員会の発表、そして感想交流がありました。阿蘇小は、長崎の修学旅行から学んだこと、阿蘇西小学校は最上級生として何ができるか考えたこと、阿蘇中は、人権委員会の実践報告でした。本講は、人権教育講演会担当でした。

今回は、本校6年生の感想を紹介します。

発表①「6年生物語〜未来へつなぐ〜」(阿蘇小)

・差別やいじめは戦争と同じことをしていると言うことが分かった。これからは差別やいじめが起きないように一人一人のことを知ろうと思った。

・いじめなどをすると相手がいやな気持ちになるし、自分も後悔すると思うからいじめや差別は改めていけないと思った。

発表②「助け合い学び合い磨き合う学級を目指して」(阿蘇西小)

・皆で話すことで、仲のよいク

ラスができるし、いじめや差別などをなくすことができると思つた。「言葉は、人を救うために使う」というところが心に残つた。

・周りの人が声をかけ合うことでいじめや差別がなくなることに分かった。これから困っている人に声をかけようと思つた。

発表③「人権委員会実践報告」(阿蘇中)

・言葉は悲しみなどを和らげることができると分かった。だから、いじめや差別に困っている人などがいたら積極的に声をかけようと思つた。

・言葉には相手を傷つける言葉もあるから気をつけることが大切だと思つた。

④人権教育講演会



演題「お互いに支え合い、認め合い、豊かな人権感覚を」

講師 南小国町教育委員会 学校教育人権教育指導員

倉岡 巧さん

・皆同じ人間だから差別やいじめは絶対にしてはいけない。他の人の言葉ばかり信じないで、自分で確かめることが大切。

・本当のことを知ることが大切。他の人を大切にするのが大切。真実を知り、相手のことを知ることではない。これからは相手の考えを知っていじめをなくしたいと思つた。

※6年生として、しっかりと自分の感想をまとめていきました。「気づき、考え、実行する」行動できる人になってほしいと思います。

年賀状を

いただきました。

3日(月)、隣の肥後山田郵便局の荒木局長様より、全校児童に年賀状をいただきました。一人2枚ずつ配布したいと思つています。毎年いただいています。ありがたいことだと思つています。

